

折尾愛真

News Letter



2014年 5月

2号 Vol. 80

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号

TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690

E-mail: info@orioaishin.ac.jp

URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

戴帽式

第47回

5月9日(金)、平成26年度第47回戴帽式がありました。臨地実習に向けて、責任の重さと職業に対する意識を高めるために毎年行われているものです。福岡県済生会八幡総合病院院長北村昌之先生が祝辞で、「今、看護師には思いやりややさしさという漠然とした観念を技術に変えるというプロとしての看護師が求められています。皆さんも初めてのことばかりで戸惑うこともあるでしょうが、高い技術を習得できるように頑張ってください」と激励していました。

戴帽生代表 久保田 泉水さん
(二島中学出身)



2年5組 戴帽生



2年6組 戴帽生

調理器具授与式

4月25日(金)、製菓コース1年生に実習で使用する調理器具の授与式が行われました。真新しい器具を手にした生徒達は、これから始まる実習に期待と不安を持ちながらも真剣にオリエンテーションに臨んでいました。



新入生校外オリエンテーション

5月21日(水)~23日(金)の3日間、大分県中津江村の鯛生スポーツセンターで、新入生のオリエンテーションがありました。毎年この時期に集団行動を通して規則遵守や時間厳守の大切さを学び、今後の学校生活における一人ひとりの規範意識を高めることを目的に毎年行われている行事です。3日間晴天に恵まれ、予定していた計画はすべて行うことができました。特に、耐久歩行では、予定していた距離を伸ばしたにも関わらずほとんどの生徒が元気で完走することができました。今後の学校生活に活かしてほしいと願っています。



班長会議



耐久歩行

学校見学会のご案内

- ・学校紹介
- ・体験授業
- ・入試相談
- ・入試対策 他

第1回

7月12日
(土)

第2回

9月20日
(土)

第3回

10月11日
(土)

第4回

11月15日
(土)

「草創期の黒田藩と栗山大善」 遠賀川③

人類は肥沃な河川の流域に住み付き、文化を生み、発展させてきたのが歴史ですが、それは、集中豪雨による河川の氾濫、洪水による、被害の歴史でもありました。最近では平成十五年の七月十八日から十九日にかけて北九州地区を襲った集中豪雨によって、遠賀川は氾濫し、特に、飯塚市の被害は大きく、中心部は浸水。有名な嘉徳劇場は再起不能と云われるまで、大きな被害を受けました。幸いに多くの善意によって再建されましたが、復旧までに一年かかったと云います。また、昭和二十八年の六月の梅雨期に、九州を襲った集中豪雨は、九州各地に甚大な被害をもたらします。ここ北九州も遠賀川の氾濫によって河口域一帯が浸水、死者・行方不明一千人、鉄路も遮断されるほどの被害が発生しています。卑近な事例を考えても、遠賀川の歴史が氾濫を繰り返した歴史でもあります。遠賀川に流入する支流の数は七十四、本川流路の長さは六十キロメートル、いったん集中豪雨でも降りますと、筑豊・嘉飯・田川一帯に葉脈のように広がる支流から本川に流入する雨水は、いっきに遠賀川を満水、容易に氾濫させた非常事態は想像できます。古代か明治時代の初期まで、河川工学が進んでない時代は、堤防も自然河川近い脆弱なものだったのでしょうから、流域の農民は常に生命の危険を感じながら生活をしなければなりませんでした。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大善」より